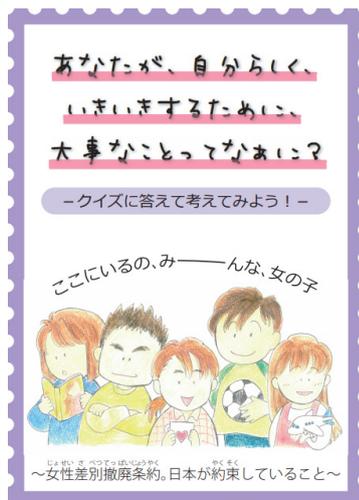


子どもたちとその周りの大人たちに、女性差別撤廃条約 (CEDAW : セダウ) の存在と中身を伝えよう



セダウミニブック表紙

子どもたちに伝えるための 「セダウミニブック」 を使ったワークショップ方法

NPO 法人「Nプロジェクトひと・みち・まち」(通称：Nプロ)

理事長 大坪 久美子

< Eメール > npro@live.jp < HP > <http://www.npo-npro.com/>

Network
Nature
NPO
New
Needs.....

<目的>

●子どもたちへ：子どもたちが、一人ひとりのもつ個性・可能性を活かして、活躍できる大人へと成長することを応援する。

子どもたちが、いまだ残る性差別的な慣習や決め付けに出会っていやな思いをしたり、自分の可能性を閉ざすことになったり、もしくは「そんなものなのかな」とその性差別的な環境に流され同調してしまうことのないように、なるべく早く、世界の中で日本も約束している「女性差別撤廃条約 (セダウ)」の存在と中身について知らせ、子どもたちをエンパワメントする。

●子どもたちの周りの大人たちへ：子どもたちがのびのびと自分の個性を活かして活躍できる環境をつくっていけるように、大人にもセダウについて知ってもらい、エンパワメントする。

<対象>

●セダウミニブックはおおよそ小学3・4年生以上を想定してつくってあります。中面は大人と一緒に見てもらいたいと思います。

このワークショッププログラムも、小学3・4年生を想定しました。それ以外の学年、中学生、高校生、大学生、親子、PTA などでもご活用アレンジ可能です。

＜セダウミニブックの使い方＞

子どもたちが集まる場、学校の総合学習の時間や、クラブサークル、イベントなどで、セダウミニブックを使ったワークショップをする。

（ここでは、所要時間：小学校授業の 45 分の場合で時間配分しています。手持ちの時間に合わせて、ミニブック表面のクイズをする数を減らしたり、最後のまとめでミニブック中面のエピソードや条約概要の紹介をして意見交換の時間を増やしたりして調整できます。）

●4 人～6 人ずつの小グループをつくって進める。（グループワークは緊張せずに意見を出しやすい、全員が発言できる、参加意識が高まるなどのメリットがあります。）

●ファシリテーター（進行係り）が、子どもたちの話し合いを促進させ時間配分を考えて進行する。（事前に「セダウミニブック」両面すべてを読んでおいてください。）

* ファシリテーターは、学校の先生や地域の NPO 等活動団体の方など。ご連絡いただければ、N プロがお手伝いしますし、出前講座として行うことも可能です。

時間	内容
①はじめに (5分)	<p>●ファシリテーターの自己紹介（先生など既知であれば省略）</p> <p>●今日学ぶことについて目的共有</p> <p>みんな、一人ひとり、好きなことや、得意なことなどが違ってきますよね？そのように一人ひとり違うことが「自分らしさ」、「個性」というもので、それはとっても大切です。</p> <p>今日は、みんなが自分らしく、いきいきと生きていくために大事なこと、知っておいたらとてもいいことについてお知らせしたいと思います。クイズなどしながら楽しく一緒に学んでいきましょう。</p> <p>●ルールの共有（4つのルールを黒板に書くか、貼り出しておくとい）</p> <p>グループで相談したり、話し合ったりする時間もとりたいと思います。</p> <p>ルールをお話しますので守ってくださいね。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全員が意見を言えるようにしよう（言いやすい雰囲気をつくろう） 2. 1人だけで長くしゃべり続けられないようにしよう 3. 話をよく聞こう（しっかり聞いて、しっかり聞いてもらおう） 4. 違う意見を否定しないで活かそう（「違うよ!」「へんだよ」「ムリだよ」など言わないで、いろいろな意見をヒントにして考えを広げよう）
②まず全体 でクイズ アイスブレイク を兼ねて今日 のテーマに 入っていく (8分)	<p>最初、ミニブックは配らず（もしくは配っても開かないで）クイズをする。</p> <p>●ではまず、クイズをしましょう！全部で5問あります。</p> <p>まずはそれぞれ、答えを考えてみてくださいね。</p> <p>あとで、「はい」または「いいえ」、どちらだと思うか聞きますから、みなさん、自分がこうだと思う方で手をあげてください。</p> <p>●「第1問 ……?」（ファシリテーターが問題を読み上げる）</p> <p>5秒ほどおいて、</p>

	<p>●では、パッと、こっちだと思っほうで手をあげてください。 「はい」の人、「いいえ」の人（みんなの現在の意識がどんな状況か見る）</p> <p>●はい、いいえ、それぞれ答えた人に、理由を聞く（時間をみて1～2人）なるほど、では、クイズを全部やってから、答えあわせをしますね。 「次、第2問・・・」</p> <p>★この要領で Q1～Q5 のクイズをやってみる。（1.5分×5=7.5分+α）</p>
③ 答え合わせ（5分）	ファシリテーターが「セダウミニブック」を配る。クイズ該当ページを見るように伝えて、順番に答えを説明する。（5分）
④ グループで、性別による差別の経験をふりかえってみる（10分）	<p>それではみなさん、これまで、「女の子だからこうしなさい、これをやってはだめ」、「男の子だからこうしなさい、これをやってはだめ」と、言われて「いやだな」「へんだな」と思ったことはありますか？（紙を配る）</p> <p>まずは一人ひとり思い出して紙に書いてみてください。（3分）</p> <p>書いたものを、グループでこんなことがあったよと伝え合ってください。それについて、どんな気持ちになったかなども話し合ってください。ここで約束です。みんなが安心して話せるように、今日聞いた「誰がどんな経験をした」という話は、「まじめに聞いて」「外では言わない」ということを約束しましょう。（7分）</p>
⑤ 全体で共有（7分）	グループでどんな話が出たか、どう思ったかなど、よかったらみんなにも教えてください。それについて、みなさんは、どんな気持ちになりましたか？
⑥ まとめ 全体での体験共有をふまえて、セダウの説明とこれからに向けて（10分）	<p>●みなさんが話してくれたように、やることや、持ち物の色などを、女とか男とかの性別によって決め付けたり、その人の得意なことではなく性別だけで役割分担を決めたりすることは、いやな気持ちにさせられるし、おかしいことですね。</p> <p>●一人ひとり、違う得意分野や好きなことがあって、それは性別でパキッと分かれているわけではありません。「性別で決め付けたり、やりたいことをさせなかったりするの、差別だから、やめます。」という約束を世界の中で取り決めたのが「女性差別撤廃条約」です。</p> <p>これが、今日、最初にお話した、「みんなが自分らしく、いきいきと生きていくために知っておいたらとてもいいもの」です。これから大事なことをお話しますね。「女性差別撤廃条約」を日本も約束しています。だから、みなさん、自信をもって、自分と他の人の「自分らしさ」を大切にしてください。</p> <p>●なぜ、「女性差別撤廃条約」というように、女性とだけかかっているかというと、昔の日本は、女の子や女の人への差別がとても強かったからです。今は、わかりやすい性差別は少なくなってきましたが、まだまだいろいろな場面で残っています。</p> <p>●ミニブックの表紙を見てください。たくましそうな子、背が高くサッカが好きの子、飛行機が好きの子、ハートマークが好きの子、青い服で読書が好きの子・・・みんな女の子だそうです。いろんな子がいていいんです。もちろん男の子でも、ハートマークが好きの子、髪の毛の長い子、いろいろいて、いいですよ。</p> <p>●女の人にこうあるべきという決め付けや差別があるということは、裏返せば、男の人にもこうあるべきという決め付けや差別があるということです。また、体は女だけど、自分の心は男だと感じていたり、その逆で体は男だけど心</p>

<p>時間があれば、紙を配って感想を書いてもらう（あるいは別の時間に）</p> <p><感想を、N プロにフィードバックいただければとてもありがたいです></p>	<p>は女だと感じていたりする人もいます。（芸能人などでもたくさんいますね）みんな、そのありのままが、その人らしさで、大事にするべきものなのです。</p> <p>●みんなにとって差別のない世の中じゃないと、本当の幸せにはなれません。だから、性別によって決め付けない、差別しないということは、全員にとって大事な問題です。</p> <p>では、ミニブックをそっと広げて、中面を見てみましょう。</p> <p>●ここに、今お話した「女性差別撤廃条約」の中身について書いてあります。「女性差別撤廃条約」は、英語の頭文字をとって「セダウ」と呼ばれています。</p> <p>●真ん中のところに、水色とグレーのイラストがありますが、これは、みなさんのこれからの人生で出会うだろうなと思う場面です。</p> <p>例えば、高校、大学に行きたいな、将来何になりたいなとか、それは、性別に関係なく、みんなが自由にめざして OK で、大人はそれを応援する社会をつくる責任があります。</p> <p><年齢によって、地域活動、家事、結婚、妊娠・出産、子育て、介護のエピソードや、紙面上部の条約概要なども活用ください></p> <p>●それぞれの場面で、「セダウ」は、みなさんを差別から守るため、条文（ルールを書いた文）がつけられています。これらに、皆さんは守られています。</p> <p>でも、そのことを知らない人ばかりだと、間違っただけで差別を起こしたり、差別が起こっていることに気づけなかったりするかもしれません。</p> <p>★権利を守ってくれるルールは、あるだけではだめで、ちゃんと知って、使っていないと、意味がないのです。</p> <p>●セダウがあるということを知っていると、この先もし、性別による差別に出会ったときに、これは間違っているなとすぐ気づけます。「いやだな」「へんだな」と思うことにいいなりにならず、まわりと協力して直していこうとすることができます。</p> <p>●少しずつセダウのことを知って、自分や、周りの人の、やりたいことなど、生きたい生き方を大事にしていきましょう。おうちの人や、信頼できる大人の人とも、このセダウミニブックを見て、一緒にクイズをしたり、中面を読んだり、お話してみてください。</p> <p>●何か、相談があったら、いつでも教えてくださいね。みなさんのこれからの人生を応援しています。</p> <p>（相談対応のご相談がありましたら N プロにご連絡ください。）</p> <p><紙を配って、ワークショップをふりかえっての感想を書いてもらう></p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---	--

*上記は、実践の際に参考にさせていただけるように作成しました。みなさんの現場に合わせていろいろアレンジしてご活用ください。ただし、「女性差別を完全に無くしていくことが必要」「女性も男性もみんな、性別で行動や役割などを決め付かず、『自分らしさ』を大事にする」という視点をはずさないことを念頭において、お願いいたします。これは、SDGs の目標5（ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る）につながる基本となります。